2019年２月８日

各　　位

会 社 名　　株式会社　富士ピー・エス
代表者名　　代表取締役社長　　菅野　昇孝
（コード：1848、東証第一部、福証）
問合せ先　　取締役常務執行役員
経営企画室長　　江里口　俊郎
（TEL. 092-721-3473）

技術研究センター構造実験棟の完成について

2018年４月から建設を進めておりました当社技術研究センター構造実験棟が完成しましたのでお知らせいたします。

記

１．目的

当社は、中期経営計画「VISION2016」の方針に基づく研究開発力の強化実現に向け、2017年４月に当社の技術開発のブレーン機能部門として技術研究センターを設置しました。構造実験棟の建設は、その研究施設整備計画の第一弾であります。当構造実験棟は新しいコンクリート構造形式の静的・動的載荷試験の検証実験を行うことができ、例えば、高速道路各社が進める大規模更新事業のプレストレストコンクリート床版、建築構造物の梁・柱、耐震補強や維持保全事業に向けた新工法・新材料の研究など、当社独自技術の開発が可能となります。また、当構造実験棟は当社いわき工場（福島県いわき市）の敷地内に位置し、東北工場（福島県安達郡大玉村）と合わせて、開発部門と製造部門の機能集積を図り、研究開発のスピードアップと技術力の向上を目指すものです。

現在、福島県では「福島イノベーション・コースト構想」を始め、新技術を起爆剤とする振興・発展に取り組まれております。当社もこれまで以上に技術開発に注力し、地域との連携を積極的に図り、福島県の復興と振興・発展に寄与する所存です。

２．構造実験棟の概要

名　　称	技術研究センター構造実験棟
所 在 地	福島県いわき市好間工業団地16番地１（当社いわき工場敷地内）
建物概要	PCaPC（プレキャストプレストレストコンクリート）造１階建て
建築（延床）面積	148.7m2
建設期間	９ヵ月
投資金額	83,000千円
用　　途 （主要設備）	研究開発における各種コンクリート部材の載荷実験に使用 （2000kN反力床、2.8tf天井走行クレーン２基）

３．今後の見通し

本件による2019年３月期の業績への影響は軽微であります。なお、次年度に事務所棟の建設と複合劣化促進実験装置などの設備投資を予定しております。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社富士ピー・エス　技術研究センター（TEL. 0246-84-8700）

以　上